

自己評価結果公表シート（令和6年度）

学校法人育保学園 バンビーニくまのだ

1. 本園の教育・保育理念

「一人ひとり」の個性が輝く毎日を送る事ができるよう環境を整え、様々な経験と遊びを通じて健全な心身の発達を助長し、情操豊かな子どもの育成を目指す。

2. 本園の教育・保育のねらい

- ・自ら考え、行動する力を育てる。
- ・人を思いやる気持ちを育てる。
- ・集団生活を通して、規範意識を持つ力を育てる。
- ・新しいものを生みだそうとする力を育てる。

3. 本年度重点的に取り組む目標・計画

- ・保育者の資質の向上
- ・保育環境の充実
- ・子どもとの関わり

4. 評価項目の達成及び、取り組み状況

評価項目	取り組み状況・結果
○保育者の質の向上	・1年の保育を個々で振り返りその結果を管理職と面談し、一人ひとりの保育者の強みと弱みを見直し保育の向上に繋げた。 ・個々の保育を振り返ったことで、自分に必要な研修が見え今まで以上に積極的に取り組むことが出来た。しかし紙面での報告のみになっているので、園内研修に繋げ園全体での学びに繋げていきたい。 ・保育者が個々に見つけた、手遊び・絵本・製作・童謡・手作り玩具等を、共有できるようSNSで送り合うことでレパートリーも増え保育に活かすことができた。
○保育環境の充実	・子ども一人ひとりの遊ぶ様子を見ながら室内・戸外・合同での遊びを、クラスだけでなく係でも話し合う事でしっかりと今まで以上に時間を設けることができた為、いろいろなツールを用いて環境や遊びの提供ができた。しかし保育教育環境ガイドラインを上手く活用できていない事もある為積極的に取り入れるようにしていきたい。 ・子どもと一緒に、身近な自然を観察したり、植物を育てたり、生き物に触れたりする事ができるように、図鑑を保育室や園庭等子どもの手に触れやすい所に置く事で子どもの興味・関心に繋げる事ができた。また、子どもが毎日遊ぶ場所で季節の野菜や花等を育てる事で、子ども達の興味も深まり育てた野菜を洗ったり食べたりする事で、食育にも繋がった。
・子どもとの関わり方	・保育者の言葉遣い・態度・行動・を振り返りシートを用いて振り返る事で、一人ひとりが自身の保育について意識するようにまた管理職が今まで以上に、各クラスをまわり各クラスの保育者の姿を見ることでその都度助言することもできるようになった。他の保育者の行動についても気が付く事が増え、互いに声を掛け合う事で園全体で各自の意識が高まった。

5. 今後取り組むべき課題

課題	具体的な取り組み方法
・保育環境の充実と見直し	・子どもの遊びの様子見ながら保育室内の環境の見直しをしたりいろいろな保育者の意見を聞いたり他施設への園見学を行ったりする事で、様々な環境を取り入れていきたい。
・業務の効率化	・保育時間とは別にクラス内の業務を行う時間を毎日交代で、取れるようにする事でクラスの運営がスムーズにできるようにする。
・保護者との関わり	・日々の子育ての悩み、心配ごと等保護者の方が相談がしやすい環境を作り楽しく子育てができるよう寄り添う。